

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

				基準年月日	令和4年8月1日
調書番号	08-10	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 松田 哲夫
				担当係	河川計画G（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	河川総合流域防災事業費(社会資本整備総合交付金)							
地区名	真沼津川	市町村名	新ひだか町	総事業費	10,123 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—
	5,568 百万円		4,555 百万円		— 百万円		— 百万円	

事業目的・目標	●真沼津川は、太平洋に注ぐ二級河川で、平成7年8月や平成13年9月の洪水により家屋浸水などの被害が発生した。 ●このため、H15年より当該計画区間（L=3.3km）の河川改修事業に着手。 ●河道の掘削による河積の拡大を行い、新ひだか町静内末広地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。				
	【アウトカム】 等 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 3,358戸 → 0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 8.1ha → 0ha				

事業概要	真沼津川は、河口から上流3.3kmの区間について、河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q=55m <sup>3</sup> /s	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長	L=3,300m	前回評価	今回評価	増減額
			掘削工	L=3,300m	445	489	44
			護岸工	L=6,600m	4,087	4,719	632
			附属工事	道路橋12橋等	1,458	1,903	445
			測量設計費		2,006	2,199	193
			用地費及補償費		492	813	321
			計		8,488	10,123	1,635

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
	事前評価又は当初	H15(2003)	H19(2007)	H22(2010)			7,000	3,150				
	前回再評価	H15(2003)	H19(2007)	H29(2017)			H52(2040)	8,488	3,820		1,536	18%
	今回評価			R4(2022)			R22(2040)	19	10,123	4,555	124	3,208

変更理由・内容(概要)	(1) 軟弱地盤対策が必要になったことによる橋梁架替工事費の増額 (2) 軟弱地盤対策に伴う橋梁架替工事設計費の増額 (3) 橋梁架替に係る実施設計の結果、取付道路工事に必要な物件補償数が増となったことによる増額 (4) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額
-------------	--

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	● H 7年8月 浸水被害が発生（浸水面積 3.4ha、浸水家屋 5.1戸） ● H13年9月 浸水被害が発生（浸水面積 0.4ha、浸水家屋 1戸）				
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	● H13年 静内町（現新ひだか町）より道に河川改修の要望 ● H15年 改修事業に着手				
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	● 新ひだか町静内末広地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積 148ha（内農地 8.1ha）、浸水防止家屋 3,358戸				
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

#### IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画																
1. 進捗状況	施工(工種)区分	工事内容	H15	~	H19	H20	H21	~	R3	R4	R5	~	R20	進捗状況	事業費(百万円)	
	掘削工	L=3,300m					L=560m					L=2,740m			16%	489
	護岸工	L=6,600m				L=660m						L=5,940m			9%	4719
	附帯工事	道路橋12橋等													34%	1903
	測量設計費	調査・設計													65%	2199
	用地費及補償費	用地買収・物件補償						12件					20件		75%	813

#### (2) 進捗状況

R3年度までに河口から駒場橋上流区間の整備を完了。  
今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

**b**

a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画・期間等を変更し実施する。  
c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考	
	項目	R4現在	項目	R4現在		
	洪水被害防止効果	41,474	建設費	8,495		●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)に基づき算出 ●効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	9		
合計(B)	41,474	合計(C)	8,504			
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【再評価】 前回算定時B/C : 3.90 変更理由 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法が見直されたことによる。 ・効果及び費用をR4に現在価値化したことなどによる。					
	R4現在	4.88				

3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	今後の対応方針	コスト削減のため、近接している橋梁については、管理者等と協議のうえ統廃合について検討していく。	-

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、新ひだか町静内末広地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 本事業着手後もH15年8月(浸水面積14.6ha、家屋21戸)、H28年8月(家屋5戸、農地13.6ha)に浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>					
	<b>a</b>	a:事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b:着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c:着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などの生息場所を創出するため、常時の水深を確保するための低々水路を設置する。また、床止め工には魚道を設置する。</li> <li>● 護岸表面は、住宅街を流下する河川としての景観に配慮したものとする。</li> </ul> ※前回の再評価以降における状況変化はない。					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
3. 事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新ひだか町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> </ul> ※前回の再評価以降における状況変化はない。					
	(3) その他の課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※前回の再評価以降における状況変化はない。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はないほか、事業を推進する上での課題等もなく、前回評価から大幅に事業が進捗していることから、予定年度での事業達成が見込まれる。					
	<b>a</b>	a:現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b:課題はあるものの達成は可能である。 c:大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和22年度(2040年度)の完成を目指し、事業継続する。					
	<b>a</b>	a:継続 b:終了 c:休止 d:中止				
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

**VI 備考**

1. 評価履歴	【評価結果】 再評価 : 平成24 (2012) 年度評価 評価結果 : 継続 (事業費減、期間延伸) B/C=3.44 再評価 : 平成29 (2017) 年度評価 評価結果 : 継続 (事業費増、期間延伸) B/C=3.90
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

**補足資料**

**VII 事業計画変更**

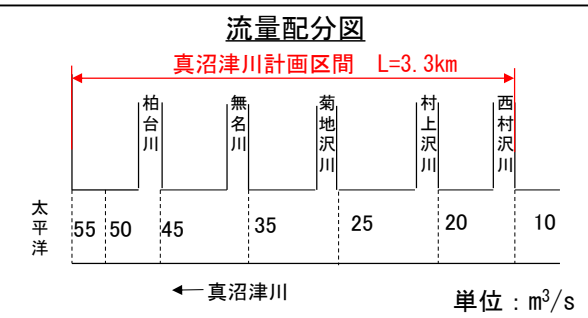
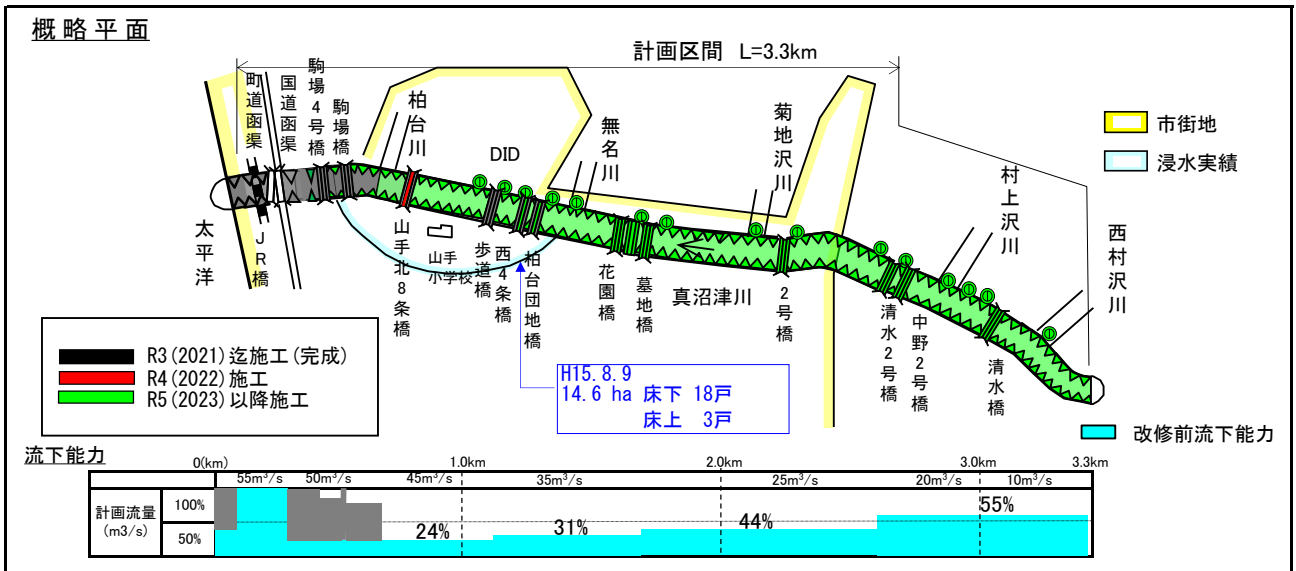
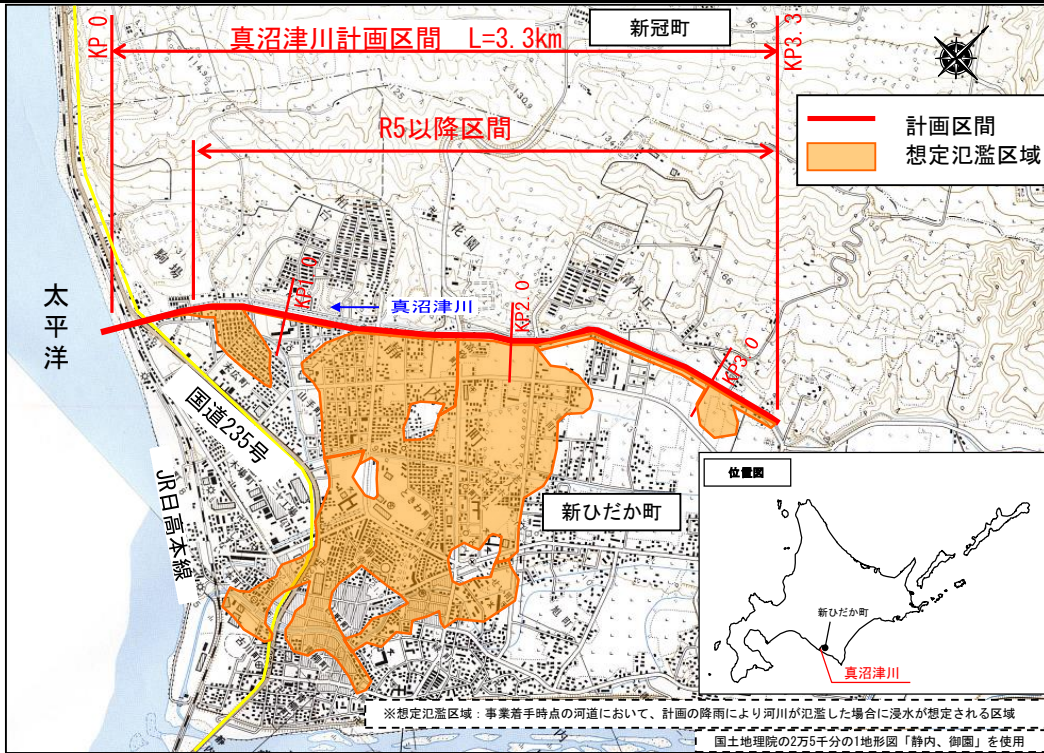
(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事 業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H15 (2003)	H19 (2007)			H22 (2010)	19	8,000			
変更①	1回目	H15 (2003)	H19 (2007)	H24 (2012)	H24 (2012)	R10 (2028)		7,000			
変更②	2回目			H29 (2012)	H29 (2012)	R22 (2040)		8,488			
変更③					H30 (2018)	H52 (2040)		9,190			
変更④	3回目			R4 (2022)	R4 (2022)	R22 (2040)		10,123	124	3,208	32%
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

<b>変更理由・内容</b>	<p>変更①：事業期間の変更 ・用地交渉に時間を要したこと及び残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更②：事業期間・総事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更③：総事業費の変更 ・軟弱地盤対策が必要になったことによる橋梁架替工事費の増額 ・軟弱地盤対策に伴う橋梁架替工事設計費の増額 ・橋梁架替に係る実施設計の結果、取付道路工事等に必要な物件補償数が増となったことによる増額</p> <p>変更④：総事業費の変更 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p>
----------------	---

# 事業概要図

事業名	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	真沼津川	採択年度	H15 (2003)
-----	------------------------------	-----	------	------	---------------



流域面積(km <sup>2</sup> )	4.8
計画延長(km)	3.3
氾濫面積(ha)	148
計画雨量	57 mm/hr
計画高水流量(m <sup>3</sup> /s)	55
計画勾配	1/50~1/640

